

期待されるふるさと納税

■文化振興・人材育成などに活用

激動期に対応した施策の展開を

報告 議会の動き

当局に配慮ある対応を求める

■事前の説明が必要

6月11日、デマンド型交通システム導入に関する補正予算の質疑のなかで、議員から「事業計画が大幅に変更になる場合は、事前に議会に対し説明をすべきではないか。」と当局に猛省を促す意見がありました。

定例議会終了後に開催された全員協議会で、8月1日から運行開始する「デマンドタクシー」の概要が当局から説明されました。

議員からは、料金設定や使用する車両、停留所に保養センター「パレス松風」は含まれないのかなどといった質問や意見が出されました。

■まちづくりに活用

生まれ故郷や白鷹町にゆかりのある人が寄付金として納めることができる「ふるさと納税」制度の施行により、その受け皿となる「白鷹町ふるさと応援基金条例」が制定されました。

条例の第7条に「基金の管理に關し必要な事項は町長が定める。」とありますが、具体的な内容を問われ、「基金の使途は、文化振興・人材育成・観光交流・コミュニティの醸成などとなります。」という答弁がありました。

基金は、今後のまちづくりに寄与するものと期待されます。



梅雨の晴れ間に紅花摘み

- 定例議会は、6月10日から19日までの10日間の会期で開かれました。
- 最初に、最上川流域にある多様な資源をつなぐいだ広域観光交流の推進をめざすことに合意し、6月6日、「白鷹・朝日・大江広域観光推進協議会」を設立したとの報告がありました。
- 本会議に提出された主な議案は、
- 白鷹町ふるさと応援基金条例など条例5件、20年度各会計補正予算などですが、審議の結果原案のとおり可決しました。
- 後期高齢者医療制度の撤廃を求める意見書提出の請願は不採択となりました。
- 一般質問は、3名の議員が当面する町の問題点や課題をたどりました。
- 任期満了の固定資産評価審査委員会委員の選任は、安達和子氏を全会一致で同意しました。

6月定例議会日程

月 日	会 議
6月3日	議会運営委員会
6月4日	議会広報特別委員会
6月10日	本会議、一般質問
6月11日	議会運営委員会 本会議
6月13日	産建文教常任委員会
6月17日	総務厚生常任委員会
6月19日	本会議 議会広報特別委員会



最上川の文化的景観を軸としたまちづくり推進会議 設立総会